

# 回 覧

令和 2年 1月 9日

市民各位

笠間市役所 農政課

## C S F 経ロワクチンの野外散布について「お知らせ」

野生イノシシによるC S F（豚コレラの呼称が変わりました）拡散を防ぐため、国及び県から依頼がありましたC S F対策「経ロワクチンベルト」への取組の一環として、大子町から筑西市までの6市町及び、利根川流域の古河市など4市町を合わせた10市町で、「経ロワクチン」を設置することとなりました。

つきましては、本市におきましても下記の日程により実施する予定ですので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

### 記

1. 作業日時  
第1回 令和2年1月14日（火）～  
令和2年1月23日（木）餌付け・散布  
令和2年1月28日（火）回収  
第2回 令和2年2月10日（月）～  
令和2年2月20日（木）餌付け・散布  
令和2年2月25日（火）回収
2. 散布場所 市内20カ所予定
3. 散布方法 1カ所あたり深さ10cmの穴を間隔をあけて10個地面に掘り、経ロワクチン2個と餌を入れて埋め戻します。
4. 作業者 笠間市猟友会・茨城県・市の関係者・職員で班編成し、作業を行います。

### 問合せ先

茨城県 農林水産部畜産課 029-301-3982

笠間市 農政課 0296-77-1101（内527）

※ 裏面に、C S Fに関するQ & Aを掲載しましたのでご覧下さい。

## CSFに関するQ&A

Q：CSFとは。

A：ウイルスにより起こる豚・イノシシの熱性伝染病で、強い感染力と高い致死率が特徴です。感染豚は、唾液、涙、糞尿中にウイルスを排出し、感染豚や汚染物等との接触により感染が拡大します。

Q：笠間市における養豚農家の数及びCSFの発症状況は。

A：養豚農家数は9戸で12農場です。令和元年12月現在で飼養豚の発症はありません。また、野生イノシシの感染確認もありません。また、茨城県内においても発生・感染確認はありません。

Q：CSFは人や他の動物に感染しないのか。

A：人や他の動物には感染しません。豚・イノシシと細胞構造が違うためCSFウイルスが人や他の動物の細胞内に侵入することが出来ないためです。仮に何らかの理由により体内にウイルスが入っても増殖しないまま消化されます。

Q：経口ワクチンとはどんなものでどんな効果あるのか。

A：トウモロコシ粉等で固めたビスケット状の餌（40mm×40mm×15mm）の中に、液状ワクチンがアルミ箔に包まれて挿入されたものです。野生イノシシが食べることで免疫が出来、CSF感染を防ぐことが出来ます。（100%防げるわけではありません。）

Q：経口ワクチンを人や他の動物が誤って食べても大丈夫なのか。

A：人や他の動物が誤って食べても体に害はありません。

Q：経口ワクチンベルトって何。

A：CSFウイルスの日本全国への拡大を防ぐため、国や関係県とが連携し、野生イノシシの感染確認県をベルト状に囲い込むものです。茨城県では、笠間市を含めた10市町が対象地域となっております。

Q：経口ワクチンは散布後どうするのか。

A：一定期間後回収する予定です。